

# 男女共同参画 Q&A

## Q なぜ男女共同参画社会が必要なの？

**A** 日本国憲法には男女平等が定められていますが、現実の社会においては、「男は仕事、女は家事・育児」というような性別による役割分担意識からくる事実上の男女格差により、自ら望む生き方を選択するうえでの妨げになっている場合があります。

また、少子・高齢化の進展により働き手が減少すると、経済・産業の活力が衰えるおそれがあります。さらに、老年者人口の増大は現役世代の負担を増加させます。男女共同参画は、これらの問題を解決する有効な対応策です。

## Q 固定的性別役割分担意識って…？

**A** 男女を問わず個人の能力等によって役割の分担を決めることが適当であるにもかかわらず、男性、女性という性別を理由として、役割を固定的に分けることをいいます。

「男は仕事、女は家事・育児」、「男性は主要な業務、女性は補助的業務」等は固定的な考え方により、男性・女性の役割を決めている例です。

## Q 女性の社会進出が進むと、出生率がますます下がるのではないのですか？

**A** 近年では、女性の労働力率の高い国や都道府県の方が出生率が高い傾向がみられ、長時間労働の是正など男性を含めた働き方の見直しや、地域における子育て支援体制の構築などが、子育てと女性の就労双方にプラスの影響を及ぼす可能性が示されています。

## Q 男性にとっての男女共同参画とは？

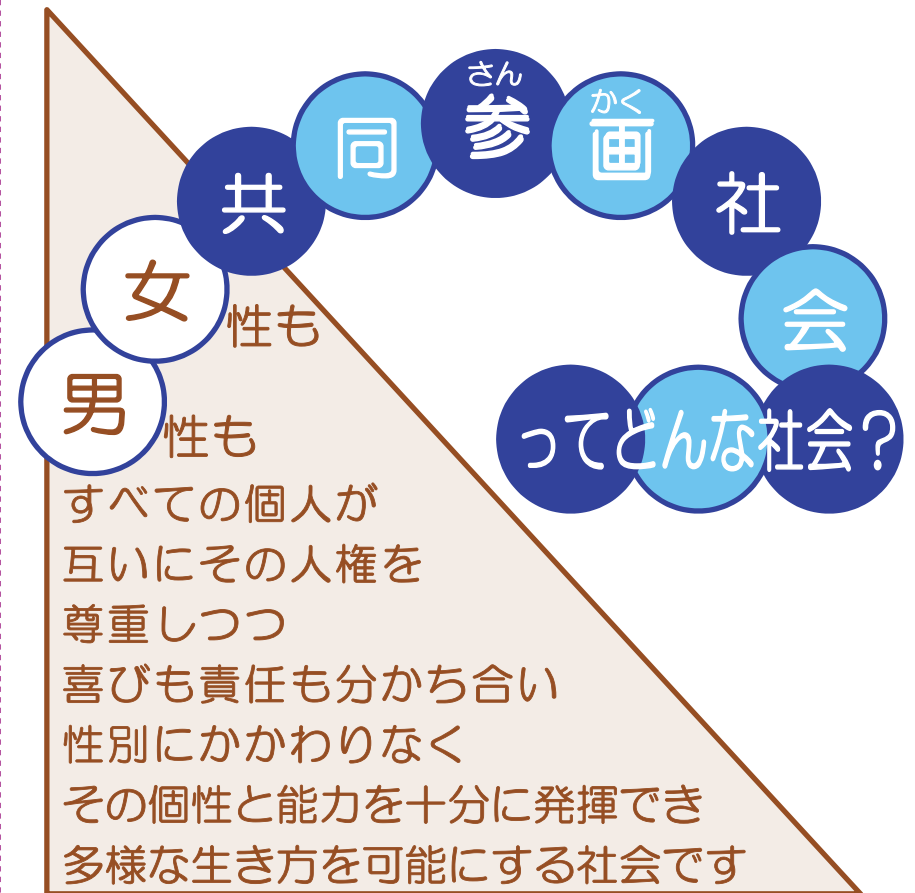
**A** 「男は仕事、女は家庭」といった性別役割分業は、戦後の高度経済成長を支え、終身雇用制度などの日本型雇用慣行は、「会社人間」、「企業戦士」と呼ばれる仕事中心のサラリーマンを多く生み出しました。

近年では、社会経済情勢の急速な変化とともに雇用環境が悪化し、長時間労働・過重労働等による心身への負担が原因とみられる「過労死」、「中高年男性の自殺」などの悲劇も増加しています。

このような状況のなか、共働き世帯の増加や価値観の多様化により、従来の仕事中心のライフスタイルから、仕事と生活を両立できるライフスタイルを望む人が増えています。

男女共同参画社会は、女性の社会参画を促進するだけでなく男性を含めた働き方の見直しを行い仕事と生活を調和させるワーク・ライフ・バランスを推進しています。

誰もが  
生き生きと  
充実した生活を送るために…



# 男女が対等なパートナーとして認めあい尊重し 支えあえる男女共同参画社会とは…

例えば…  
こんな社会です!!

## 家庭では…

男性も女性も共に積極的に、家事・育児・介護などに参画し、喜びも苦労も分かちあっています。

一人ひとりが家族の一員として、大切にされ、お互いの協力により、豊かで充実した家庭生活を築いています。

大人も子どもも家族の一員として、責任をもち平等に尊重されています。



## 学校では…

お互いの性と個性が尊重され、協力しあう子どもたちが育っています。

性別にとらわれず、一人ひとりが認めあい自分らしさが育っています。



## 職場では…

方針決定過程の場に女性も男性も対等に参画し、生き生きと活躍しています。

募集・採用や昇進・配置、賃金などでの男女格差が解消され、個性、能力、意欲などが十分に発揮できています。

家庭生活とのバランスのとれた労働時間で、男性も女性も共にゆとりと充実感を持って働きつづけています。



## 地域社会では…

地域に残る固定的な性別観に基づく古い習慣やしきたりが見直され、一人ひとりの考え方や行動が尊重されています。

女性も男性も対等に企画や方針決定に関わり、大人も子どもも共に豊かで住みよい地域づくりに貢献しています。

だれもが地域社会の一員として、住みよさを実感し、連帯感も育まれています。

